

旭市国土強靱化地域計画に係る具体的な事業一覧（国庫補助事業）

令和8年3月時点

番号	事業名	事業箇所	数量・延長	事業期間	事業概要	総事業費	国交付金・補助金名	国の支援対象事業	実施主体	担当課	5カ年対策関係	現況値 (R6・2024)	目標値 (R11・2029)	関連プログラム
1	合併処理浄化槽設置促進事業	旭市内	合併処理浄化槽への設置換え基数 200基	R5(2023)～R9(2027)	単独処理浄化槽または汲み取り槽から合併処理浄化槽へ設置換えをする者及び指定された一部の地域に高度処理型の合併処理浄化槽を設置する者に補助金を交付する。	119百万円	循環型社会形成推進交付金 (浄化槽分)	浄化槽設置整備事業	市	環境課	該当	36基 (R5～R7実績) ※(参考)0基 (R4事業期間外)	200基 (R9・2027)	5-4
2	道路新設改良事業	市道1-030号線 旭市大間手	L = 1.6km W = 11.0m	R4(2022)～R10(2028)	主要地方道銚子海上線清滝バイパスの供用によって鹿島港との物流ルートが強化され、災害時における指定避難場所である市立海上中学校、海上公民館及び海上コミュニティ運動公園へ円滑な物資輸送が行うことができる。 さらに、地域間交流促進路線且つ津波避難道路として機能を有する1-060号線と一体整備を行うことで、国道126号と東総広域農道を結び、避難機能及びアクセスの向上の効果が図られ、安全で安心な道路環境を構築することができる。	650百万円	防災・安全交付金	道路事業	市	建設課	-	供用開始延長 0km	供用開始延長 1.6km	4-1 4-3 5-5
3	道路新設改良事業	市道1-060号線 (飯岡海上連絡道 三川蛇園線) 旭市蛇園～ 旭市三川	L = 2.54km W = 11.5m	H21(2009)～R7(2025)	土砂災害警戒区域から指定緊急避難場所までの避難道路として整備を行う。なお、地域の幹線道路である国道126号と主要地方道銚子旭線及び東総広域農道を結ぶことで、茨城県から成田市までの広域的な道路網を形成し、バイパス効果による渋滞緩和や産業振興及び地域間交流の広がりによる地域活性化が期待できる。	3,592百万円	防災・安全交付金	道路事業	市	建設課	-	供用開始延長 1.16km	供用開始延長 2.54km	1-2
4	道路新設改良事業	市道1-061号線 (南堀之内バイパス) 旭市南堀之内	L = 1.08km W = 11.7m	H21(2009)～R7(2025)	大規模自然災害後であっても生活・経済活動を維持するため本路線の整備を行う。東総有料道路から東関東自動車道までを接続する広域的な道路網が形成され、市と首都圏を結ぶ交通インフラを強化する。	1,000百万円	防災・安全交付金	道路事業	市	建設課	-	供用開始延長 0.495km	供用開始延長 1.08km	4-1 4-3 5-5

旭市国土強靱化地域計画に係る具体的な事業一覧（国庫補助事業）

令和8年3月時点

番号	事業名	事業箇所	数量・延長	事業期間	事業概要	総事業費	国交付金・補助金名	国の支援対象事業	実施主体	担当課	5カ年対策関係	現況値 (R6・2024)	目標値 (R11・2029)	関連 プログラム
5	橋梁長寿命化修繕事業	旭市内	318橋	H24(2012)～	管理橋梁の維持管理を計画的に実施するため、点検結果に基づき、橋梁長寿命化修繕計画を平成24年3月に策定し、令和6年3月に計画の更新を行っている。計画に基づき予防保全的修繕を行い、橋梁の長寿命化を図る。点検・対策箇所：旭市橋梁長寿命化修繕計画P5～P12参照	236百万円	道路メンテナンス事業費補助	道路事業	市	建設課	該当	判定Ⅲ,Ⅳ改善率 93%※ 令和7年3月時点	判定Ⅲ,Ⅳ改善率 100%※	5-5
6	社会資本整備総合交付金事業 一般国道126号八木拡幅	旭市八木～銚子市三崎町	L=5.7km バイパス部 W=10.5m 現道拡幅部 W=21.25m	H18(2006)～R16(2029部分供用)	国道126号八木拡幅は、銚子市三崎町から旭市八木までの約5.7kmの事業であり、現国道126号の交通混雑緩和、線形不良による事故多発区間の改善、幅員狭小区間における歩行者や小中学校の通学路としての安全性の確保の他、利便性の向上による地域活性化に大きく寄与するものである。また、本路線の整備により大規模自然災害後であっても必要最低限の生活・経済活動の維持に貢献する。	8,500百万円	社会資本整備総合交付金	道路事業	県	銚子土木事務所 建設維持課	-	-	早期延伸	4-1 4-3 5-5
7	住宅・建築物耐震化促進事業	旭市内	-	H19(2007)～	木造住宅の耐震化促進のため、昭和56年5月31日以前に建築された戸建て住宅の耐震診断、耐震改修にかかる費用の一部を助成するほか、地震発生時のコンクリートブロック塀等の倒壊を防止するため、危険なコンクリートブロック塀等の除去にかかる費用の一部を助成する。	11百万円 (R7～R11)	防災・安全交付金	住宅・建築物安全ストック形成事業	市	都市整備課	該当	市内の住宅の耐震化率 80.6%	市内の住宅の耐震化率 95%	1-1 3-2 5-4
8	空き家等対策推進事業	旭市内	-	H30(2018)～	空き家等による地域住民への生活環境の深刻な影響や倒壊等による避難路の通行不能を防ぐため、これらの解消と発生抑制・活用につながる施策を実施する。	29百万円 (R7～R11)	住宅市街地総合整備促進事業費補助	空き家対策総合支援事業	市	都市整備課	-	空き家除却・活用・改修件数 3件/年	空き家除却・活用・改修・代執行件数 10件/年	1-1 1-2 1-4

旭市国土強靱化地域計画に係る具体的な事業一覧（国庫補助事業）

令和8年3月時点

番号	事業名	事業箇所	数量・延長	事業期間	事業概要	総事業費	国交付金・補助金名	国の支援対象事業	実施主体	担当課	5カ年対策関係	現況値 (R6・2024)	目標値 (R11・2029)	関連プログラム
9	大原幽学遺跡史跡公園整備事業	大原幽学遺跡史跡公園	-	R4(2022)～R11(2029)	「史跡大原幽学遺跡整備基本計画」に基づき、崩落の恐れがある斜面を保護する。また、土砂流出、斜面崩落を引き起こす排水不良を改善するほか、園路の整備をすすめる。	70百万円	国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金	歴史活き活き！史跡等総合活用整備事業	市	生涯学習課	該当	整備件数 2	整備件数 15	6-6
10	一般国道126号山武東総道路三期（銚子連絡道路）	匝瑳市横須賀～旭市イ	L=13.0km	R4～	一般国道126号山武東総道路三期は、銚子連絡道路の一部を構成し、首都圏中央連絡自動車道の整備効果を山武・東総地域へ広く波及させ、県内外との交流・連携を強化し、地域の活性化や防災力の向上、国道126号の交通混雑の緩和と沿道環境の改善を目的とした2車線のバイパス事業である。	30,110百万円	国庫補助（改築）	道路事業	県	海匠土木事務所 銚子連絡道路建設課	-	-	-	4-1 4-3 5-5
11	基幹水利施設ストックマネジメント事業	旭市内～匝瑳市内	L=4230m	R6～	秋田川地区は、地区内の基幹的な排水路としての役割を担っており、地区の農作物への生育・被害に大きな影響を及ぼす施設である。しかしながら、経年変化等に伴う機能劣化が進行しているため、対策工事を実施し、既設の長寿命化を図ることを実施する。	2,694百万円	農山漁村地域整備交付金	水利施設等保全高度化事業	県	海匠農業事務所 地域整備課	-	-	-	1-3 4-4
12	旭地域基幹管路布設替工事	旭市内	L=723m	R6～R13	災害時における給水の確保を図るため、旭地域の基幹管路の耐震化・更新を行う。	499百万円	防災・安全交付金	水道・下水道事業	市	上下水道課	該当	-	-	5-4
13	飯岡地域基幹管路布設替工事	旭市内	L=796m	R6～R13	災害時における給水の確保を図るため、飯岡地域の基幹管路の耐震化・更新を行う。	309百万円	防災・安全交付金	水道・下水道事業	市	上下水道課	該当	-	-	5-4
14	旭配水場ポンプ施設更新事業	旭配水場	-	R5～R12	旭配水場の配水ポンプ等の機械・電気設備の経年化及び地下に設置されている設備の浸水リスク等の懸念を踏まえ、設備の耐震化・更新を行う。	4,320百万円	防災・安全交付金	水道・下水道事業	市	上下水道課	該当	-	-	5-4
15	下水道施設耐震化事業	旭市内	-	R8～R17	処理場施設の重要度や役割に応じた優先順位を設定し、既設施設の耐震化を行う。また、災害拠点病院、避難所、防災拠点などの重要施設に接続する下水道管路の耐震化を行う。	859百万円	防災・安全交付金	水道・下水道事業	市	上下水道課	該当	-	-	5-4